

# 安七十五期

## 葉書からの同報会

▼9月9日安積歴史博物館は「朝河貫一博士イエール大学在職百周年記念顕彰事業実行委員会」主催のフォーラムが行われ大入り満員の盛況であった。▼本来は9月8日に朝河生誕の二本松市安達文化ホールで開催の予定であった。朝河のイエール大の後輩でもある**加藤良三**駐米大使がメインゲストで来福する事を知った私は**古川清**実行委員長に加藤氏の安歴博と安積高校への立寄りを凶々しくお願いした。実行委員長曰く『まあ、要請はしてみ

るが、非常に多忙なひとだからな!』▼しかし運は私の母校愛に味方した。なんと加藤大使にはシドニーでのAPEC会議が入り、予定は一日後ろ繰り下がりで、二本松会場は先予約で使えずなく、幸いにもこちらに会場が転がり込んだのである。▼講堂は普段は殆ど使われて居ない。埃の中にお客様をお迎えしては申し訳ない。**関博之**安積高校長は吹奏楽部の生徒を講堂の掃除に貸して下さった。開催日までに3度も講堂を掃除した。掃除には私も付き合った。何しろ半数以上がカワユイ女子高生(木目に直角に雑巾を掛けるのには呆れたが)だからである。▼聴講予定は三百人で駐車

場は向かいの道因寺を入れても足りない。郡山女子大にお願いして職員駐車場を借りて助けて頂いた。椅子も450席まで増やした。▼当日安歴博は総出でお迎え、私は落ち着かなかくエントランスの塵、落ち葉を取り、熊手で砂利を整えた。そしてゲストが到着。**古川清**会長始め、基調講演**加藤良三**大使。コーディネーター**宮崎緑**千葉商科大学教授、パネラー**阿川尚之**慶応大学総合政策部長、**矢吹晋**10期横浜国立大学名誉教授等。聴衆も続々到着、**佐藤雄平**福島県知事、**原正夫**郡山市市長、**三保恵一**二本松市長、主催者の一員でもある、**渡部世一**福島民報社社長など。講演までの時間

館内を見て頂き、普段は人けの少ない安積歴史博物館も大賑わいであった。▼座席も足りない程の来場者で大成功。冷房も無く暑い講堂では有ったが明治二五年朝河が答辞をのべた由緒ある講堂を使って頂けた事は大変嬉しかったし、主催者にとっても良かったと思う。紙面の関係で基調講演、パネル会議の内容は次回に譲る▼尚十月九日からは朝河顕彰会ではイエール大に訪問する。**須佐善夫**安積桑野会新副会長、**佐藤利栄**も同行する。▼これらの計画はすべて**糠澤修一**12期顕彰協会事務局長福島テレビ社長の起案である。「仕事は忙しい人にさせよ」を地で行っている。

無責任編集 敬称略御容赦

郡山市熱海町熱海四の三九 村田英男 連絡はFAX0249-84-2131

deo@kirakuya.jp に変えた